

1 1. 水道環境保全

横浜市水道局の取り組み事例

横浜市水道局
清塚 雅彦

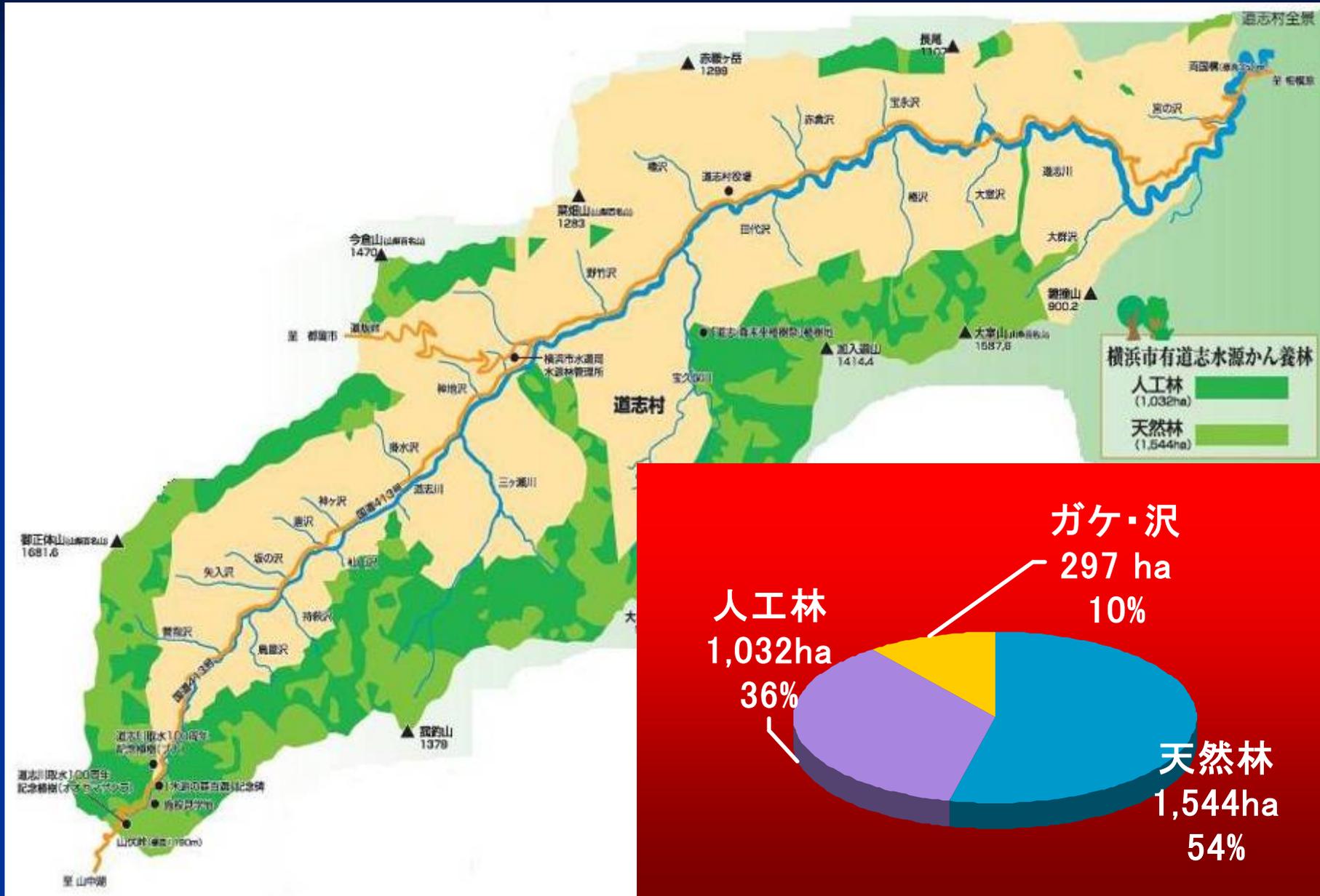
横浜市水道局の取り組み事例

第3回 新水道ビジョン策定検討会

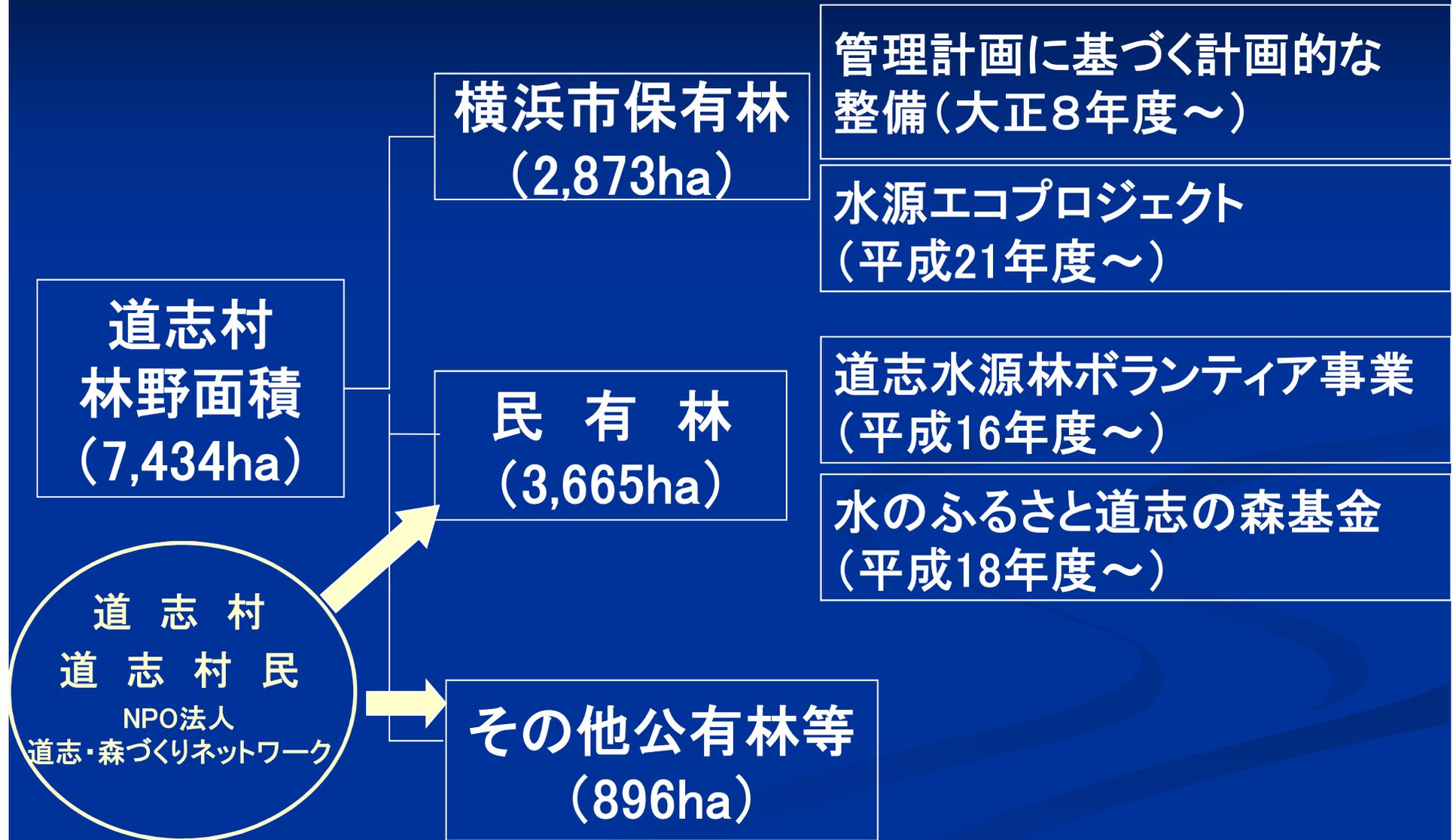
平成24年3月26日

横浜市水道局 浄水部長 清塚 雅彦

横浜市水源かん養林の状況



水源林整備体系



3-1 市有林の整備

第10期管理計画基本方針

- 水源かん養機能の向上を主な目的として管理する。
- 人工林は、間伐等適正な管理をしながら、複層林化、混交林化を目指す。
- 天然林は、人工的な管理は行なわず、自然の推移に委ねる。

水源エコプロジェクト(W-eco'p)

● 目的

- ・企業や団体の皆様と協働で、道志村に所有する横浜市水道局の水源涵養林の整備を推進
- ・森林整備、水源保全の大切さをいっしょにPR

● 内容

- ・3年間以上、森林整備(下草刈り、枝打、間伐など)に係る費用を寄附
- ・森林の名称設定可能
- ・職員・社員研修等支援
- ・森林整備後、山梨県の「やまなしの森づくり・CO2吸収認証制度」に基づき申請
- ・横浜市地球温暖化対策計画書制度でのCO2排出量相殺に使用可能 など

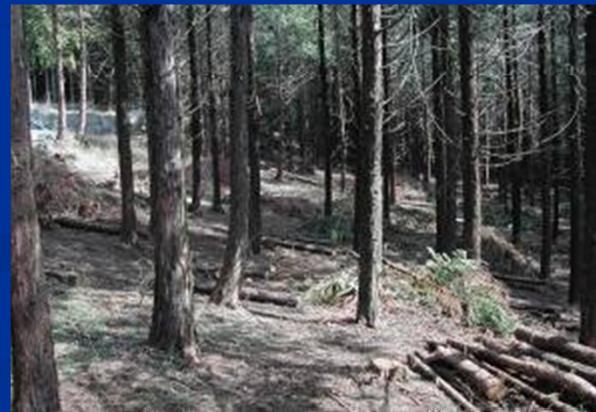
協定締結企業等一覧

企業・団体名	整備期間	整備面積(予定)
(株)京急百貨店	5年間(21~25年度)	約15.7ha
(株)ブリヂストン	5年間(22~26年度)	約10.8ha
(社)神奈川県宅地建物取引業協会	3年間(22~24年度)	約3.5ha
(株)ファンケル	3年間(22~24年度)	約5.6ha
生活協同組合コープかながわ	3年間(22~24年度)	約3.0ha
神奈川パナソニックファミリー会	3年間(23~25年度)	約3.8ha
(株)エコシティサービス	3年間(23~25年度)	約4.0ha
(株)清光社	4年間(23~26年度)	約8.0ha
東京ガスエコモ(株)	3年間(23~25年度)	約6.0ha
パシフィックコンサルタンツ(株)	3年間(23~25年度)	約3.0ha
横浜読売会	3年間(24~26年度)	約9.0ha
合計		約72.4ha

協定締結企業・団体さま

企業・団体名	企業・団体名
A 株式会社京急百貨店	G 株式会社エコティサービス
B 株式会社プリチストン	H 株式会社清光社
C 神奈川県宅地建物取引業協会	I 東京ガスエコモ株式会社
D 株式会社ファンケル	J パンフィックコンサルタンツ株式会社
E 生活協同組合コープかながわ	K 横浜読売会
F 神奈川パナソニックファミリー会	

富士山も見える
絶景スポット、
二里塚ポケット
パークに看板を設
置。ぜひお越し
ください。



3-2 民有林の整備

「道志水源林ボランティア事業」・
「横浜市水のふるさと道志の森基金」

道志の森基金とボランティア事業の関係

5年間で
約2,000万円

「水のふるさと
道志の森基金」設置

- 市民・企業からの寄附
- ペットボトル「はまっ子
どうし The Water」売り
上げの一部等

5年間で
約1,600万円

資金面での
サポート

道志村民有林(3,700ha)は
人手不足等で水源かん養
機能が一部低下

再生

「道志水源林
ボランティア事業」
水道局と市民ボランティアに
よる協働事業
のべ9,751人による42.6haの
整備(H16~H23)